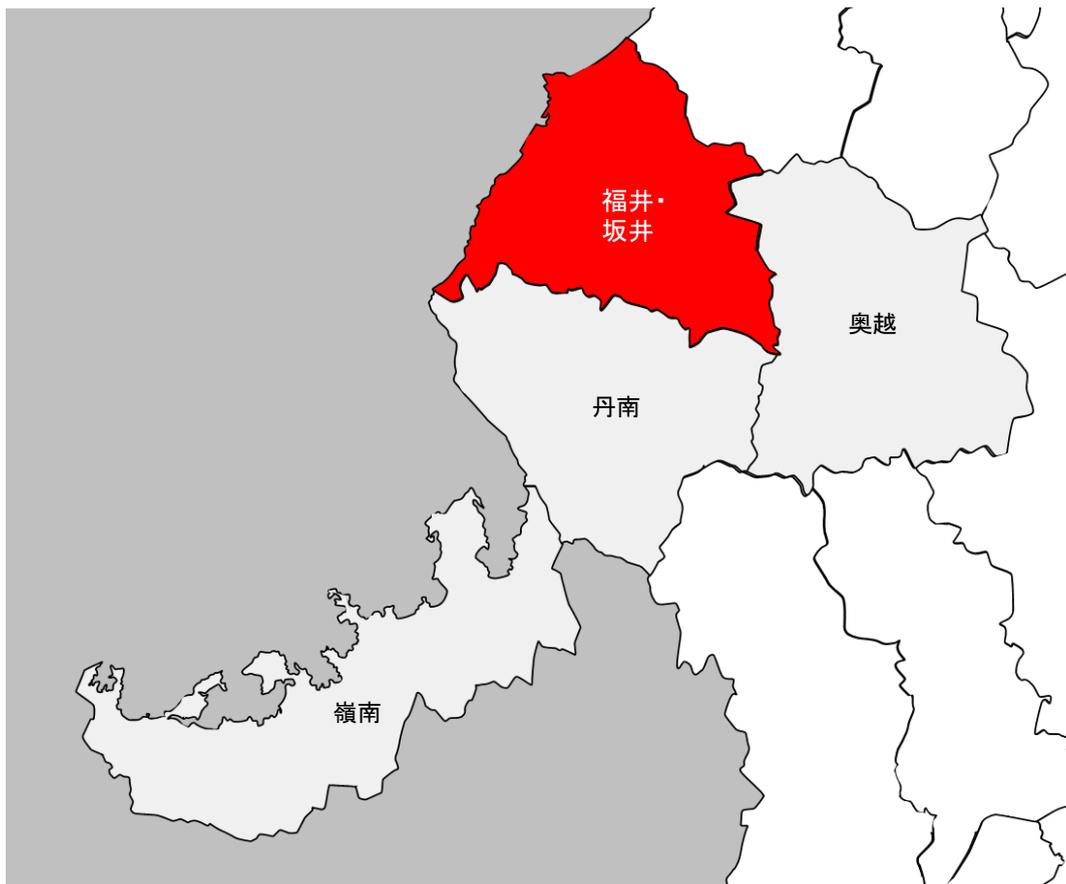


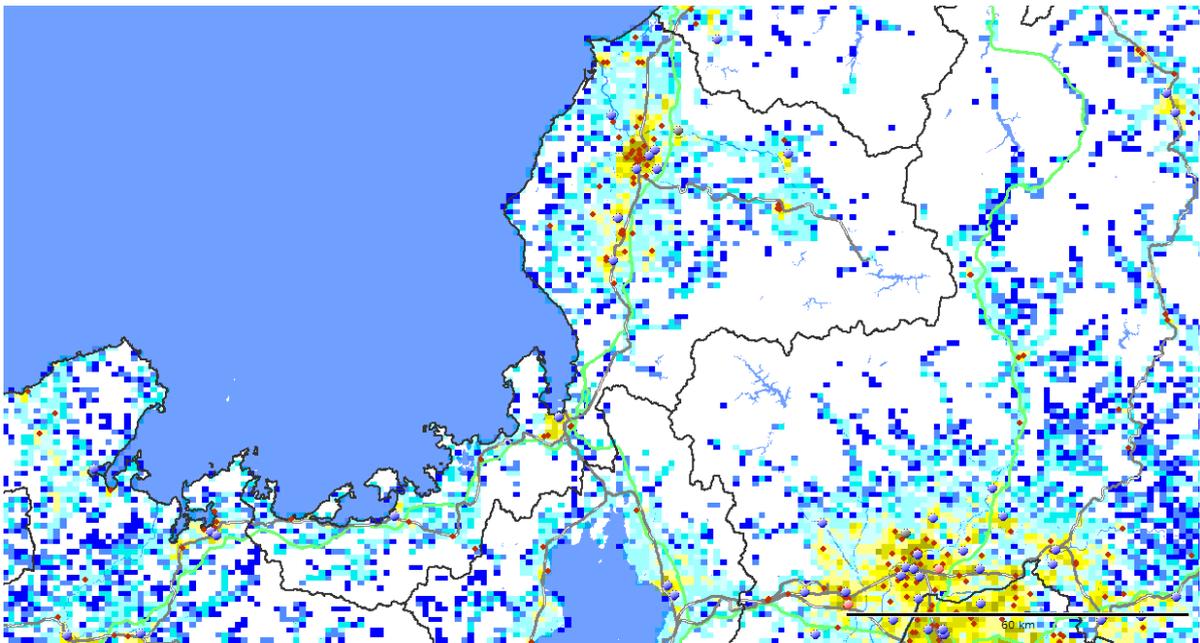
18. 福井県



目次

福井県	18	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	18	-	8
1. 福井・坂井医療圏	18	-	20
2. 奥越医療圏	18	-	25
3. 丹南医療圏	18	-	30
4. 嶺南医療圏	18	-	35

18. 福井県

人口分布 (1km²区画単位)

1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(福井県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 福井県は、総人口約787千人(2015年)、面積4,190km²、人口密度は188人/km²である。

*人口の将来予測： 福井県の総人口は2025年に738千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に647千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の115千人が、2025年にかけて141千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には145千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 福井県の一人当たり医療費(国保)は383千円(偏差値58)、介護給付費は284千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 福井県の一人当たり急性期医療密度指数は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数は1.12で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が51(病院医師数52、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 福井県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,974人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8,434床(偏差値59)、高齢者住宅等が3,540床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10,299人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム40、軽費ホーム57、グループホーム47、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、902人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

2. 推移

【人口と医療需要】

福井県の総人口は、2005年821,592人が、2015年に786,740人と4%減少し、2025年の人口が737,898人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

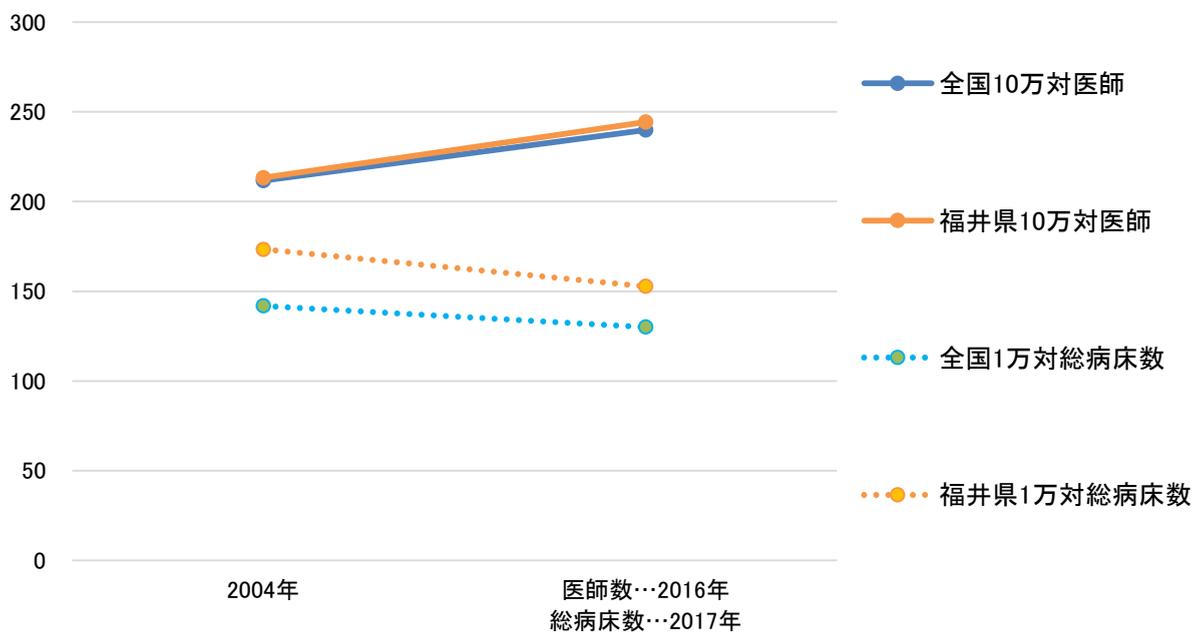
2004年の病院数が88(人口10万人当たり10.7病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2017年に68(人口10万人当たり8.6病院(全国平均6.6)偏差値54)となり、13年間で20病院が減少した。

2004年の診療所数が564(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に575(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、11診療所が増加した。

2004年の総病床数が14,242床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2017年に12,015床(人口1万人当たり153(全国平均130)偏差値54)と、2,227床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

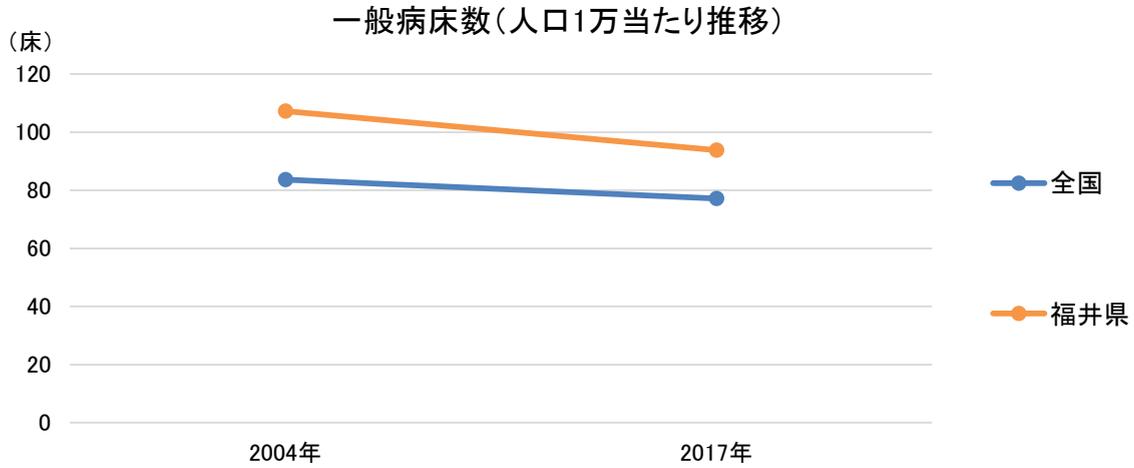
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,752人(人口10万人当たり213人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2016年に1,922人(人口10万人当たり244人(全国平均240人)偏差値51)と、170人の増加、率にして10%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



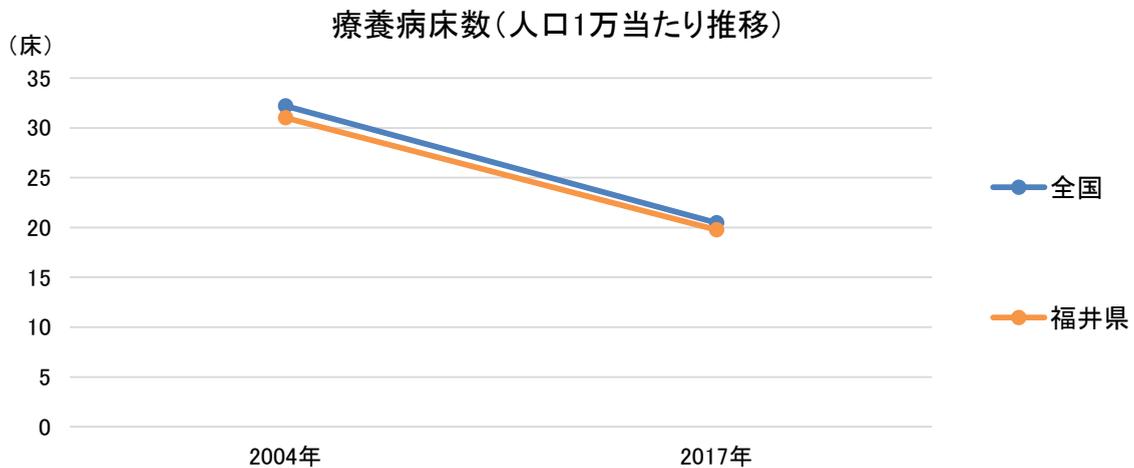
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8,810床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2017年に7,375床(人口1万人当たり94(全国平均77)偏差値56)と、1,435床の減少、率にして16%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



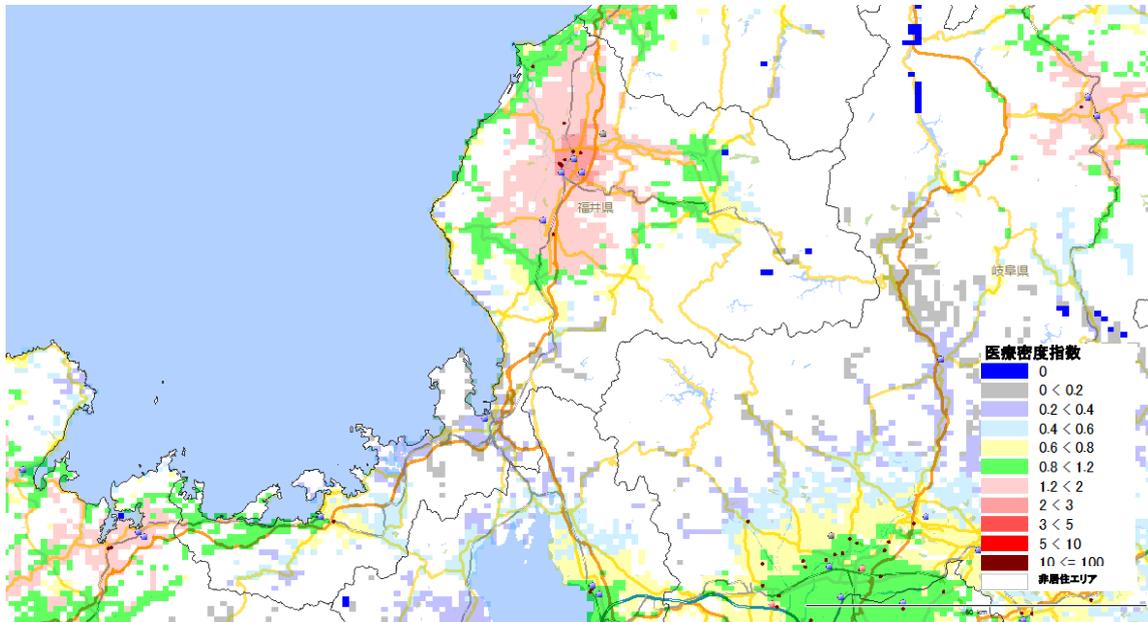
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,883床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2017年に2,281床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値49)と、602床の減少、率にして21%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



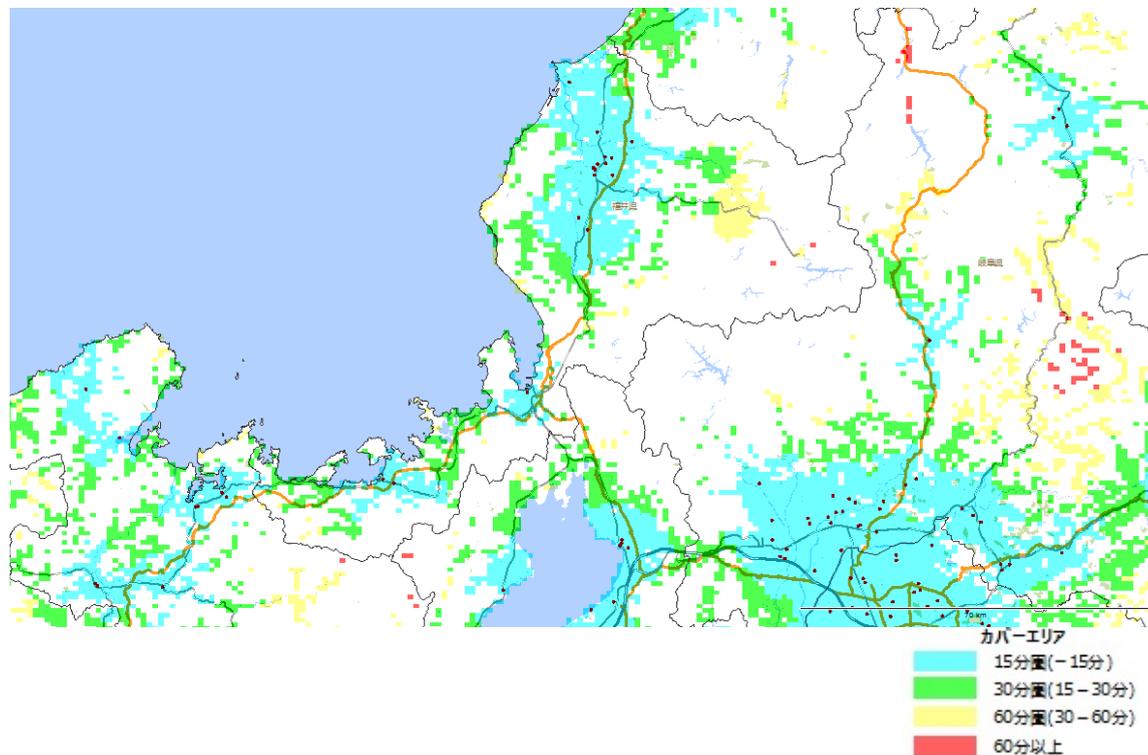
(福井県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 18-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
福井県	787	43位	4,190	34位	187.7		29%	738	647	115	141	145	-6%	-12%	23%	3%
福井・坂井	405	51%	957	23%	422.8	地方都市型	28%	389	354	57	73	76	-4%	-9%	28%	4%
奥越	57	7%	1,126	27%	50.8	過疎地域型	34%	50	39	11	12	11	-12%	-22%	9%	-8%
丹南	185	24%	1,007	24%	183.5	過疎地域型	28%	172	148	27	32	33	-7%	-14%	19%	3%
嶺南	140	18%	1,100	26%	127.2	過疎地域型	29%	127	106	21	25	25	-9%	-17%	19%	0%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 18-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
福井県	1.16	1.12	10,821	11,617	-7.4%
福井・坂井	1.47	0.56	5,593	5,953	-6.4%
奥越	0.82	1.07	1,058	941	11.0%
丹南	0.93	0.84	2,507	2,706	-7.9%
嶺南	0.75	1.10	1,663	2,017	-21.3%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 18-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
福井県	383	58	1.044	162	59	1.148	200	57	1.000	284	59
福井・坂井	380	58	1.041	157	58	1.115	201	58	1.013	285	60
奥越	394	61	1.036	162	60	1.106	213	64	1.027	296	63
丹南	383	58	1.044	167	61	1.178	196	54	0.981	276	57
嶺南	382	58	1.039	168	62	1.187	195	54	0.972	288	60
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 18-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
福井県	899	48	0.968	488	53	1.035	388	40	0.916
福井・坂井	949	52	1.014	507	55	1.073	416	47	0.967
奥越	895	48	0.972	474	52	1.008	403	44	0.963
丹南	839	43	0.905	464	51	0.985	352	31	0.833
嶺南	847	44	0.917	474	52	1.009	354	31	0.839
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 18-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
福井県	68	0.8%	8.6	54	575	0.6%	73	46
福井・坂井	34	50%	8.4	54	332	58%	82	51
奥越	6	9%	10.5	58	36	6%	63	41
丹南	18	26%	9.7	57	108	19%	58	39
嶺南	10	15%	7.1	51	99	17%	71	45
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 18-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
福井県	575	0.6%	73	46	508	0.5%	65	45	67	0.9%	8.5	55
福井・坂井	332	58%	82	51	290	57%	72	49	42	63%	10.4	58
奥越	36	6%	63	41	32	6%	56	40	4	6%	7.0	52
丹南	108	19%	58	39	93	18%	50	37	15	22%	8.1	54
嶺南	99	17%	71	45	93	18%	66	46	6	9%	4.3	48
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 18-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(9.4)	1,653,234		1,301	(53.7)
福井県	10,912	0.7%	1,387	53	1,103	1.1%	140	57	12,015	0.7%	1,527	54
福井・坂井	6,428	59%	1,588	58	687	62%	170	60	7,115	59%	1,758	59
奥越	546	5%	954	44	72	7%	126	55	618	5%	1,080	46
丹南	2,025	19%	1,096	47	244	22%	132	56	2,269	19%	1,228	49
嶺南	1,913	18%	1,367	53	100	9%	71	49	2,013	17%	1,439	53
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 18-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(22.3)	325,228		256	(20.3)	331,700		261	(21.0)
福井県	6,403	0.7%	814	55	2,150	0.7%	273	51	2,296	0.7%	292	51
福井・坂井	4,215	66%	1,041	65	899	42%	222	48	1,282	56%	317	53
奥越	302	5%	528	42	109	5%	190	47	135	6%	236	49
丹南	925	14%	501	41	706	33%	382	56	378	16%	205	47
嶺南	961	15%	687	49	436	20%	312	53	501	22%	358	55
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 18-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
福井県	440	0.5%	56	48	753	1.0%	96	56
福井・坂井	294	67%	73	52	443	59%	109	58
奥越	41	9%	72	52	0	0%	0	41
丹南	105	24%	57	49	199	26%	108	58
嶺南	0	0%	0	36	111	15%	79	53
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 18-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
福井県	4,676	3,999	183	6,080	2,480	1,821	61.7%	56	9.1%	52
福井・坂井	2,967	2,596	0	3,404	1,652	899	61.1%	56	0.0%	48
奥越	199	195	0	347	103	109	65.4%	58	0.0%	48
丹南	234	230	0	1,692	692	610	24.9%	43	0.0%	48
嶺南	1,276	978	183	637	33	203	96.7%	70	47.4%	69
出典	地方厚生局指定一覽平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 18-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩 件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
福井県	15,216	0.4%	1,934	45	5,532	0.6%	703	49
福井・坂井	13,548	89%	3,347	51	4,080	74%	1,008	61
奥越	264	2%	461	40	0	0%	0	22
丹南	672	4%	364	39	660	12%	357	36
嶺南	732	5%	523	40	792	14%	566	44
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 18-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
福井県	1,922	0.6%	244	51	1,380	0.7%	175	52	542	0.5%	69	45
福井・坂井	1,389	72%	343	62	1,063	77%	263	64	326	60%	81	50
奥越	70	4%	122	37	41	3%	72	38	29	5%	51	37
丹南	234	12%	127	37	124	9%	67	37	110	20%	60	41
嶺南	229	12%	164	42	152	11%	109	43	77	14%	55	39
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 18-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
福井県	136	0.6%	17.3	50	90	0.7%	11.4	52	70	0.6%	8.9	50
福井・坂井	103	76%	25.4	58	68	76%	16.8	63	54	77%	13.3	61
奥越	7	5%	12.2	44	4	4%	7.0	42	2	3%	3.5	37
丹南	11	8%	6.0	37	6	7%	3.2	34	6	9%	3.2	36
嶺南	15	11%	10.7	42	12	13%	8.6	46	8	11%	5.7	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 18-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
福井県	33	0.6%	4.2	49	57	0.6%	7.2	49	68	0.9%	8.6	60
福井・坂井	23	70%	5.7	56	43	75%	10.6	59	45	66%	11.1	69
奥越	2	6%	3.5	46	3	5%	5.2	42	3	4%	5.2	47
丹南	4	12%	2.2	40	8	14%	4.3	40	12	18%	6.5	52
嶺南	4	12%	2.9	43	3	5%	2.1	33	8	12%	5.7	49
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 18-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
福井県	49	0.5%	6.2	47	145	0.7%	18.4	52	116	0.7%	14.7	54
福井・坂井	31	63%	7.7	51	104	72%	25.7	63	85	73%	21.0	67
奥越	3	6%	5.2	44	5	3%	8.7	39	5	4%	8.7	41
丹南	5	10%	2.7	37	19	13%	10.3	41	13	11%	7.0	37
嶺南	10	20%	7.1	50	17	12%	12.1	44	13	11%	9.3	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 18-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
福井県	40	0.7%	5.1	52	49	0.7%	6.2	54	49	0.9%	6.2	56
福井・坂井	31	78%	7.7	64	33	67%	8.2	62	40	82%	9.9	68
奥越	2	5%	3.5	44	2	4%	3.5	42	1	2%	1.7	41
丹南	4	10%	2.2	38	8	16%	4.3	46	3	6%	1.6	41
嶺南	3	8%	2.1	38	6	12%	4.3	46	5	10%	3.6	47
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 18-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
福井県	41	0.6%	5.2	49	6	0.4%	0.8	45	32	0.8%	4.1	56
福井・坂井	33	80%	8.2	58	6	100%	1.5	52	26	81%	6.4	68
奥越	1	2%	1.7	38	0	0%	0	37	0	0%	0	34
丹南	3	7%	1.6	38	0	0%	0	37	3	9%	1.6	43
嶺南	4	10%	2.9	42	0	0%	0	37	3	9%	2.1	46
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

18.福井県(2018年版)

資_図表 18-18 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
福井県	8	0.4%	1.0	45	12	0.5%	1.5	47
福井・坂井	8	100%	2.0	52	8	67%	2.0	50
奥越	0	0%	0	37	1	8%	1.7	48
丹南	0	0%	0	37	3	25%	1.6	47
嶺南	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 18-19 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
福井県	8,041	0.7%	1,022	54	6,524	0.7%	829	54	1,516	0.7%	193	52
福井・坂井	5,250	65%	1,297	64	4,374	67%	1,081	65	876	58%	216	55
奥越	324	4%	567	38	240	4%	419	37	85	6%	148	46
丹南	1,306	16%	707	43	973	15%	526	42	333	22%	180	50
嶺南	1,161	14%	830	48	938	14%	670	48	223	15%	159	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 18-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
福井県	984	0.7%	125	53	1,426	0.5%	181	44
福井・坂井	597	61%	148	57	916	64%	226	49
奥越	49	5%	85	46	76	5%	133	39
丹南	210	21%	113	51	228	16%	123	38
嶺南	129	13%	92	47	206	14%	147	41
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 18-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
福井県	54	0.4%	0.5	41	8	0.6%	0.1	48	93	0.8%	0.8	56
福井・坂井	34	63%	0.6	44	4	50%	0.1	48	44	47%	0.8	55
奥越	4	7%	0.4	39	2	25%	0.2	65	6	6%	0.6	45
丹南	10	19%	0.4	39	2	25%	0.1	49	20	22%	0.7	53
嶺南	6	11%	0.3	36	0	0%	0	38	23	25%	1.1	68
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 18-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
福井県	11,974	0.7%	104	50	8,434	0.8%	73	59	3,540	0.5%	31	42
福井・坂井	6,336	53%	112	55	4,103	49%	72	59	2,233	63%	39	48
奥越	1,125	9%	106	51	941	11%	89	72	184	5%	17	34
丹南	2,675	22%	100	48	1,948	23%	73	59	727	21%	27	40
嶺南	1,838	15%	86	39	1,442	17%	67	55	396	11%	19	35
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 18-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
福井県	3,088	0.8%	27	57	4,902	0.9%	42	57	444	0.7%	3.8	50
福井・坂井	1,361	44%	24	53	2,577	53%	45	60	165	37%	2.9	48
奥越	366	12%	34	70	575	12%	54	69	0	0%	0	41
丹南	782	25%	29	62	955	19%	36	51	211	48%	7.9	61
嶺南	579	19%	27	58	795	16%	37	52	68	15%	3.2	49
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
福井県	487	0.2%	4.2	40	326	1.4%	2.8	57	1,208	0.6%	10.5	47
福井・坂井	340	70%	6.0	42	246	75%	4.3	64	648	54%	11.4	48
奥越	10	2%	0.9	37	0	0%	0	43	87	7%	8.2	43
丹南	137	28%	5.1	41	80	25%	3.0	57	252	21%	9.4	45
嶺南	0	0%	0	37	0	0%	0	43	221	18%	10.3	47
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
福井県	1,519	0.7%	13.2	49	366	1.7%	3.2	60	1,153	0.5%	10.0	46	
福井・坂井	999	66%	17.6	55	256	70%	4.5	68	743	64%	13.1	50	
奥越	87	6%	8.2	41	20	5%	1.9	53	67	6%	6.3	40	
丹南	258	17%	9.7	44	90	25%	3.4	61	168	15%	6.3	40	
嶺南	175	12%	8.2	41	0	0%	0	43	175	15%	8.2	43	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 18-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)	訪問看護		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
福井県	1,347	0.8%	11.7	55	910	0.8%	7.9	53	436	0.8%	3.8	56
福井・坂井	668	50%	11.8	56	444	49%	7.8	52	225	51%	4.0	57
奥越	113	8%	10.6	51	84	9%	7.9	53	29	7%	2.7	46
丹南	307	23%	11.5	54	229	25%	8.6	56	78	18%	2.9	48
嶺南	258	19%	12.1	57	153	17%	7.2	49	106	24%	4.9	67
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
福井県	11,201	0.7%	97	54	10,299	0.8%	89	59	902	0.4%	7.8	40
福井・坂井	5,619	50%	99	55	5,208	51%	92	62	411	46%	7.3	39
奥越	1,000	9%	94	51	923	9%	87	57	77	9%	7.2	39
丹南	2,536	23%	95	52	2,371	23%	89	59	165	18%	6.2	37
嶺南	2,047	18%	96	53	1,798	17%	84	55	249	28%	11.6	47
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
福井県	3,191	0.3%	28	36	4,235	0.8%	37	54	6,063	0.5%	53	42
福井・坂井	1,618	51%	29	37	1,697	40%	30	49	2,840	47%	50	41
奥越	338	11%	32	38	249	6%	23	44	544	9%	51	41
丹南	705	22%	26	36	974	23%	36	54	1,054	17%	39	37
嶺南	530	17%	25	36	1,315	31%	61	73	1,625	27%	76	50
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
福井県		821,592	786,740	-4%	737,898	-10%	7%	2%	9%
福井・坂井	地方都市型	413,307	404,796	-2%	389,464	-6%	10%	5%	15%
奥越	過疎地域型	64,804	57,234	-12%	49,936	-23%	-2%	-4%	-6%
丹南	過疎地域型	194,247	184,783	-5%	171,574	-12%	5%	1%	6%
嶺南	過疎地域型	149,234	139,927	-6%	126,924	-15%	3%	-1%	2%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 18-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
福井県	88	10.7	59	68	8.6	54	-20	-23%
福井・坂井	44	10.6	59	34	8.4	54	-10	-23%
奥越	7	10.8	60	6	10.5	58	-1	-14%
丹南	23	11.8	62	18	9.7	57	-5	-22%
嶺南	14	9.4	56	10	7.1	51	-4	-29%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 18-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
福井県	564	69	46	575	73	46	11	2%
福井・坂井	316	76	50	332	82	51	16	5%
奥越	38	59	41	36	63	41	-2	-5%
丹南	110	57	40	108	58	39	-2	-2%
嶺南	100	67	46	99	71	45	-1	-1%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 18-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
福井県	1,752	213	50	1,922	244	51	170	10%
福井・坂井	1,193	289	59	1,389	343	62	196	16%
奥越	75	116	39	70	122	37	-5	-7%
丹南	237	122	39	234	127	37	-3	-1%
嶺南	247	166	45	229	164	42	-18	-7%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 18-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
福井県	14,242	173	56	12,015	153	54	-2,227	-16%
福井・坂井	8,314	201	61	7,115	176	59	-1,199	-14%
奥越	849	131	48	618	108	46	-231	-27%
丹南	2,748	141	50	2,269	123	49	-479	-17%
嶺南	2,331	156	53	2,013	144	53	-318	-14%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 18-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
福井県	8,810	107	58	7,375	94	56	-1,435	-16%
福井・坂井	5,428	131	67	4,818	119	66	-610	-11%
奥越	540	83	50	374	65	45	-166	-31%
丹南	1,440	74	47	1,122	61	44	-318	-22%
嶺南	1,402	94	54	1,061	76	50	-341	-24%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 18-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

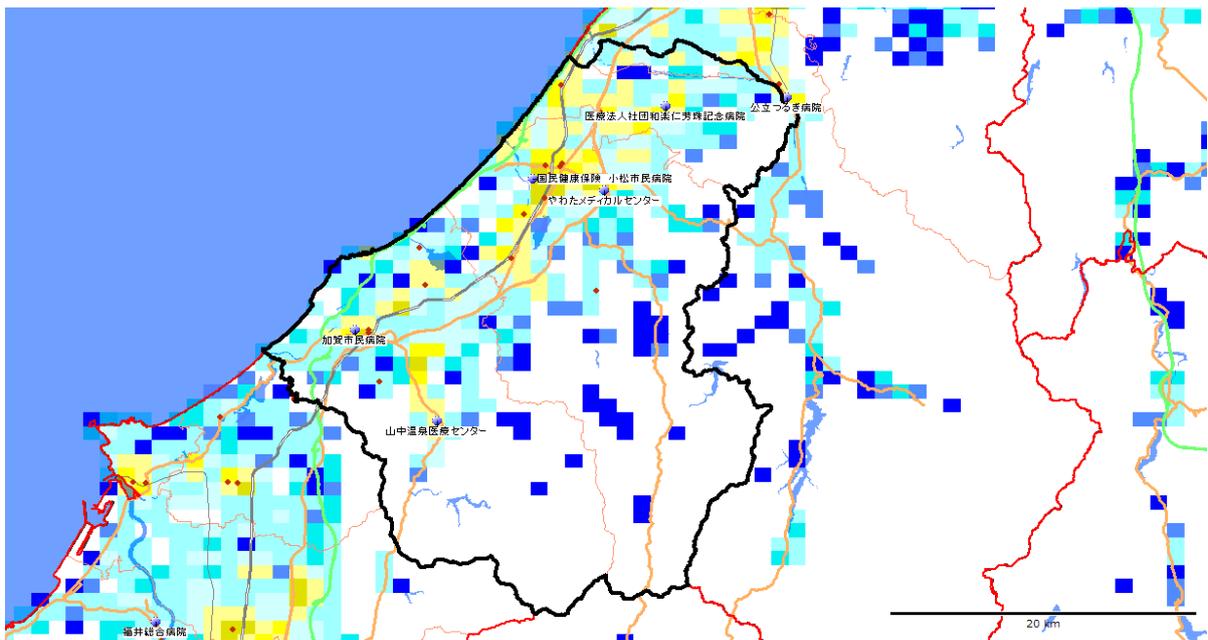
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
福井県	2,883	31	49	2,281	20	49	-602	-21%
福井・坂井	1,469	34	51	983	17	47	-486	-33%
奥越	174	19	42	109	10	41	-65	-37%
丹南	884	40	54	753	28	57	-131	-15%
嶺南	356	20	43	436	20	50	80	22%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

18-1. ふくい さかい 福井・坂井医療圏

構成市区町村 [福井市](#) [あわら市](#) [坂井市](#) [永平寺町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(福井・坂井医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 福井・坂井(福井市)は、総人口約405千人(2015年)、面積957km²、人口密度は423人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 福井・坂井の総人口は2025年に389千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に354千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の57千人が、2025年にかけて73千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には76千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 福井・坂井の一人当たり医療費(国保)は380千円(偏差値58)、介護給付費は285千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 福井・坂井の一人当たり急性期医療密度指数は1.47、一人当たり慢性期医療密度指数は0.56で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が62(病院医師数64、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は64と多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。福井・坂井には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福井県立病院(Ⅱ群・救命)、福井大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の福井県済生会病院(Ⅲ群)、福井赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の福井総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 福井・坂井の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,336人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,103床(偏差値59)、高齢者住宅等が2,233床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,208人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム42、軽費ホーム64、グループホーム48、サ高住55である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、411人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(福井・坂井医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

福井・坂井医療圏の総人口は、2005年413,307人が、2015年に404,796人と2%減少し、2025年の人口が389,464人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

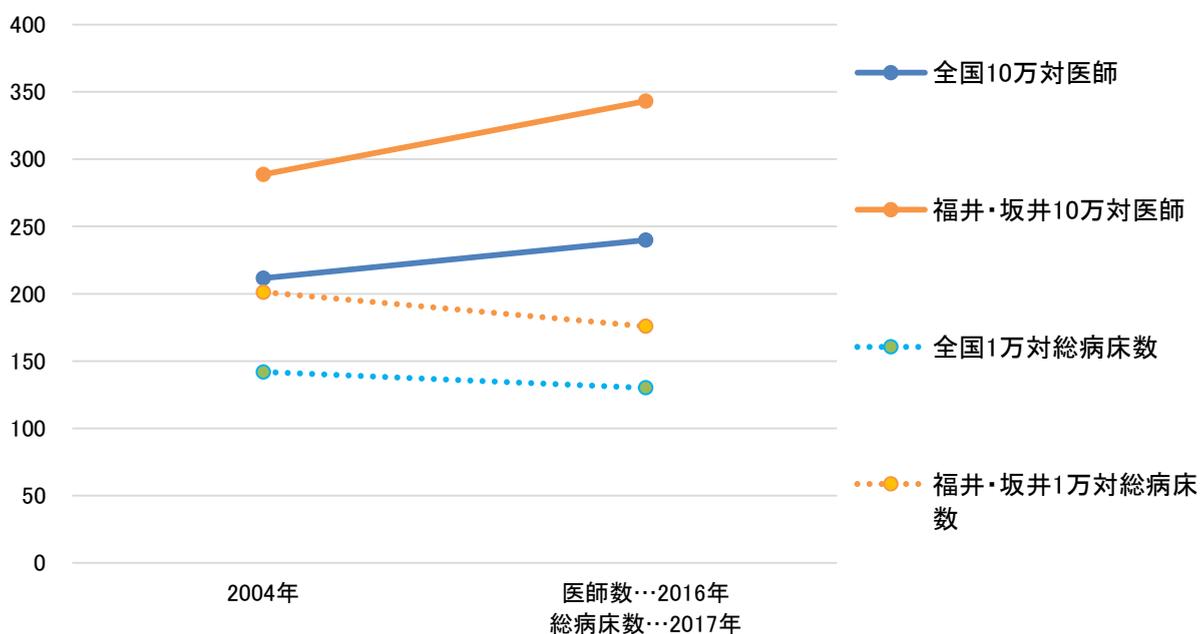
2004年の病院数が44(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2017年に34(人口10万人当たり8.4病院(全国平均6.6)偏差値54)となり、13年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が316(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に332(人口10万人当たり82診療所(全国平均80)偏差値51)と、16診療所が増加した。

2004年の総病床数が8,314床(人口1万人当たり201(全国平均142)偏差値61)であったが、2017年に7,115床(人口1万人当たり176(全国平均130)偏差値59)と、1,199床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

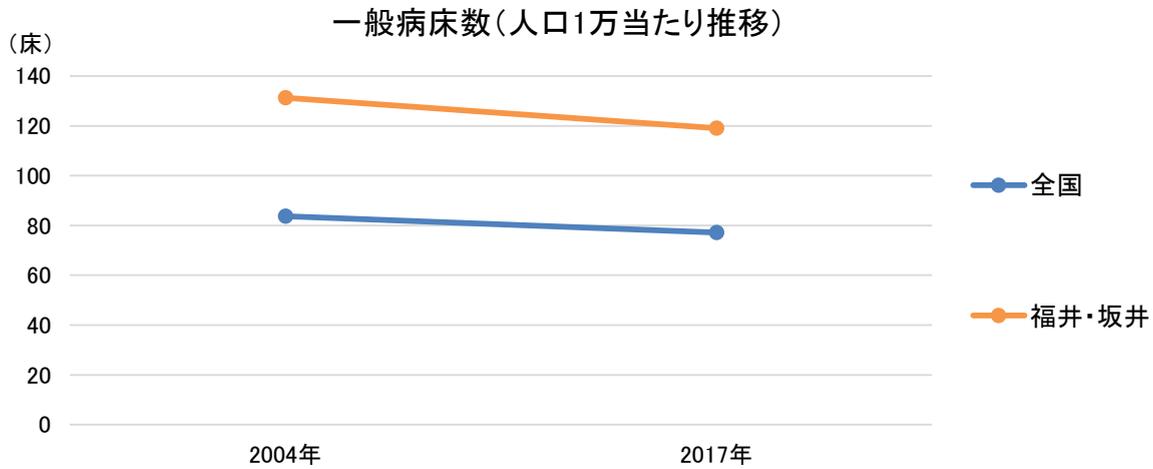
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,193人(人口10万人当たり289人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2016年に1,389人(人口10万人当たり343人(全国平均240人)偏差値62)と、196人の増加、率にして16%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



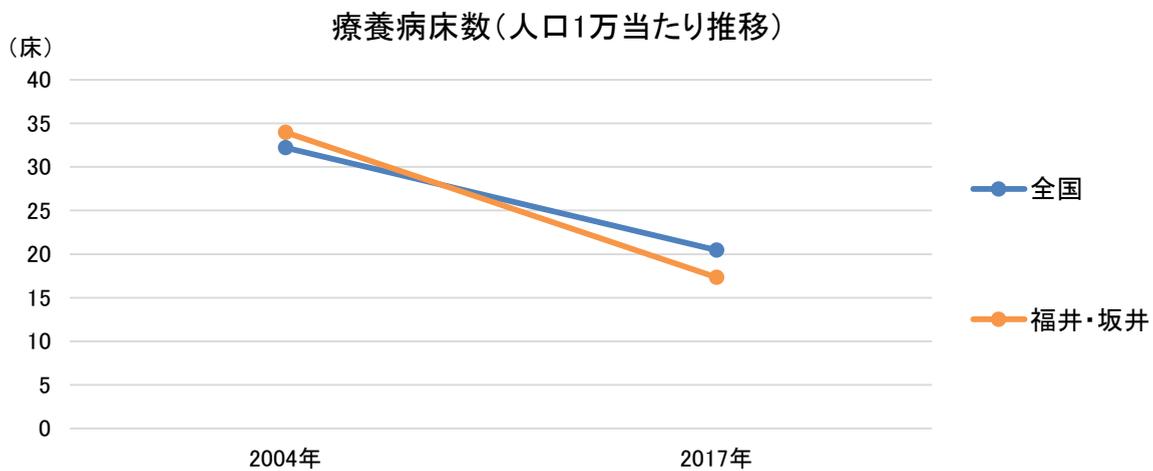
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,428床(人口1万人当たり131(全国平均84)偏差値67)であったが、2017年に4,818床(人口1万人当たり119(全国平均77)偏差値66)と、610床の減少、率にして11%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



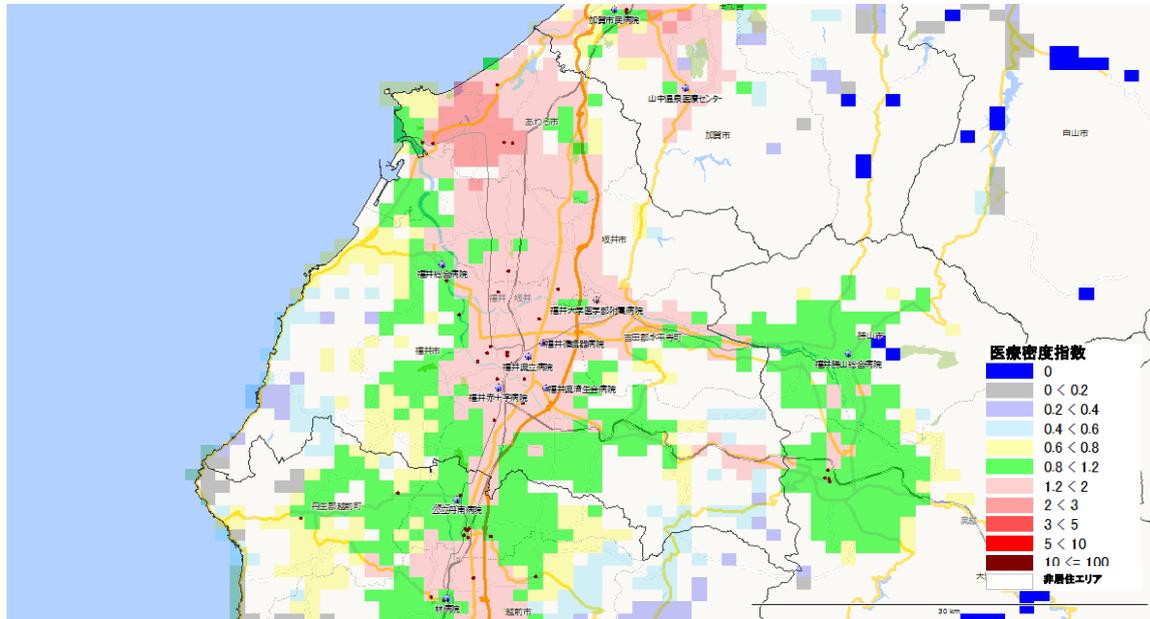
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,469床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2017年に983床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、486床の減少、率にして33%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



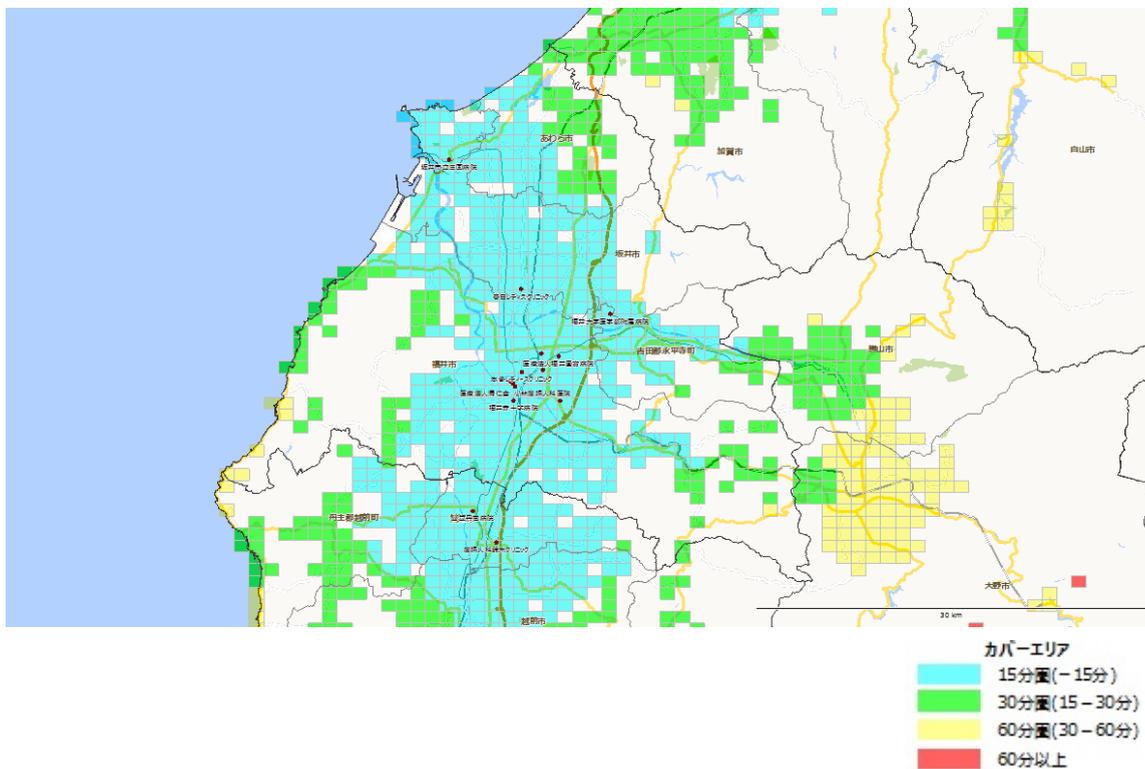
(福井・坂井医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

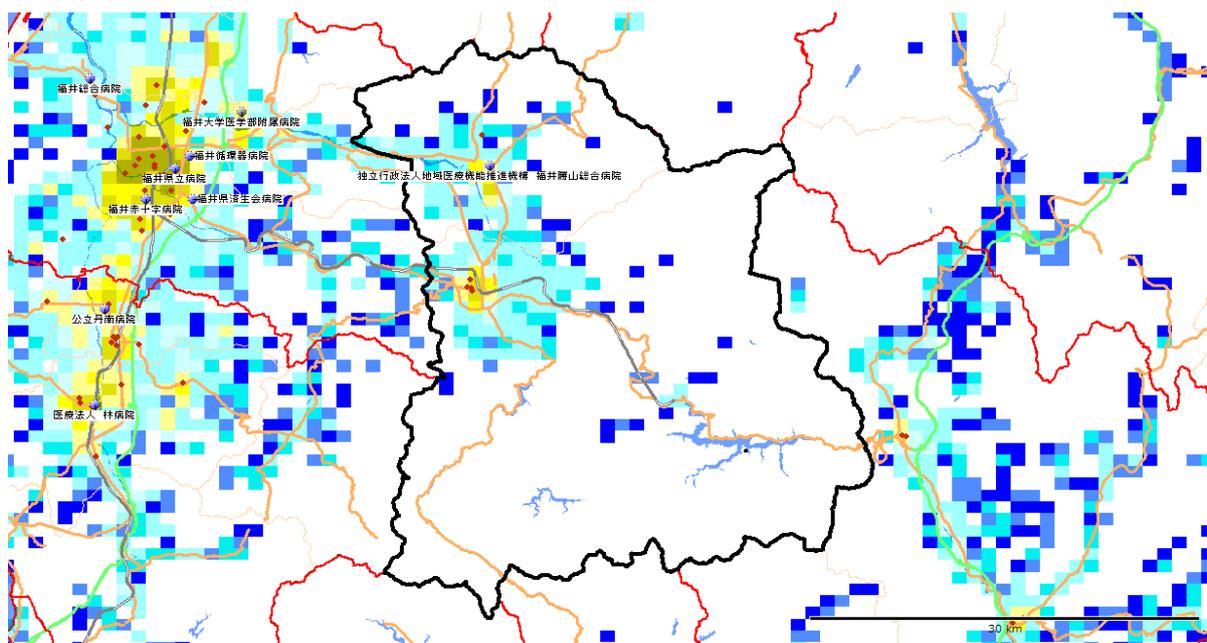


18-2. おくえつ 奥越医療圏

構成市区町村 [大野市](#) [勝山市](#)

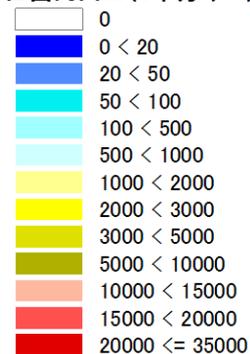
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

(奥越医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 奥越(大野市)は、総人口約57千人(2015年)、面積1,126km²、人口密度は51人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 奥越の総人口は2025年に50千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に39千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 奥越の一人当たり医療費(国保)は394千円(偏差値61)、介護給付費は296千円(偏差値63)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 奥越の一人当たり急性期医療密度指数は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数は1.07で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が37(病院医師数38、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。奥越には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 奥越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,125人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が941床(偏差値72)、高齢者住宅等が184床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、923人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設70、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム37、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住41である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値65と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、77人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(奥越医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

奥越医療圏の総人口は、2005年64,804人が、2015年に57,234人と12%減少し、2025年の人口が49,936人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

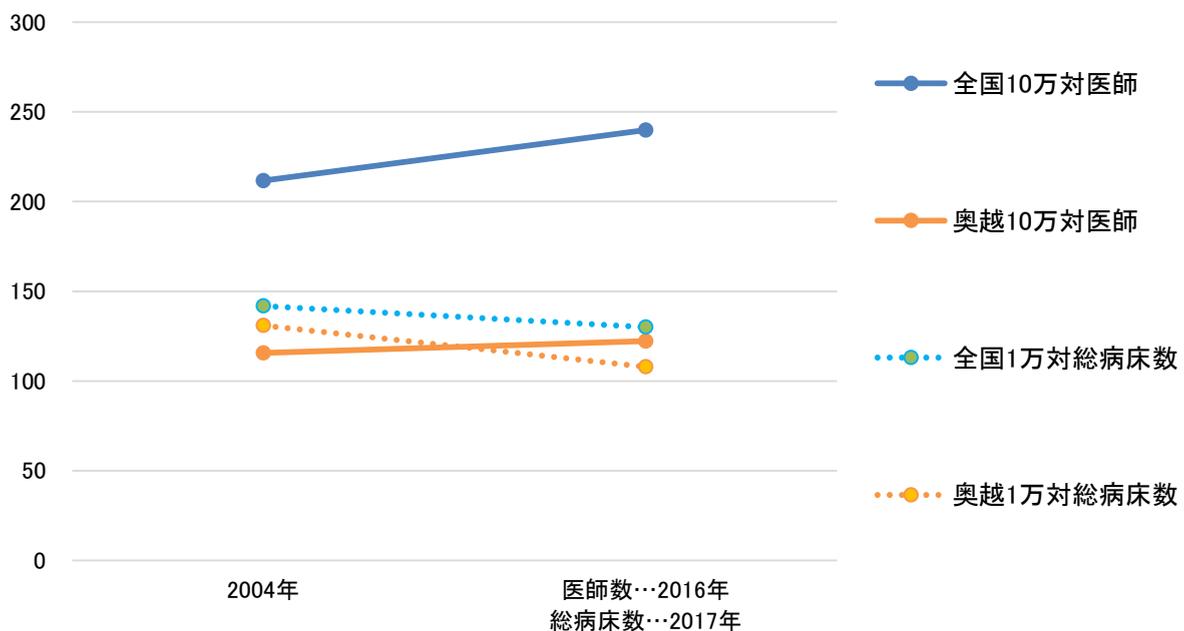
2004年の病院数が7(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2017年に6(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が38(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2017年に36(人口10万人当たり63診療所(全国平均80)偏差値41)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が849床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に618床(人口1万人当たり108(全国平均130)偏差値46)と、231床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

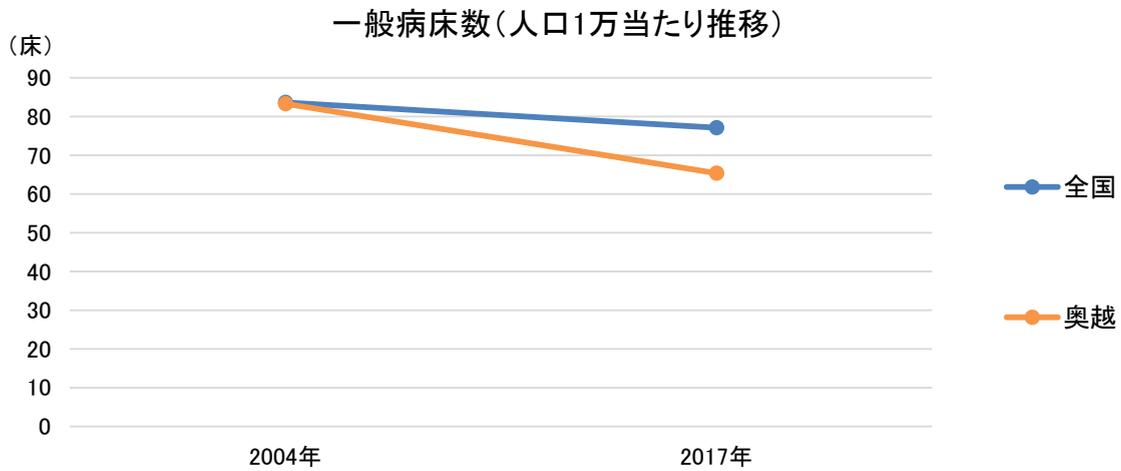
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が75人(人口10万人当たり116人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2016年に70人(人口10万人当たり122人(全国平均240人)偏差値37)と、5人の減少、率にして7%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



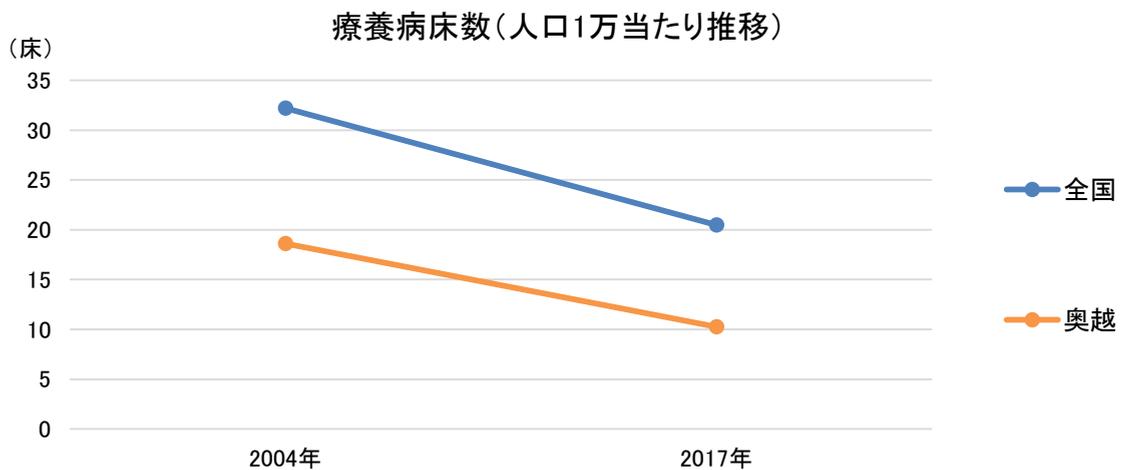
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が540床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2017年に374床(人口1万人当たり65(全国平均77)偏差値45)と、166床の減少、率にして31%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



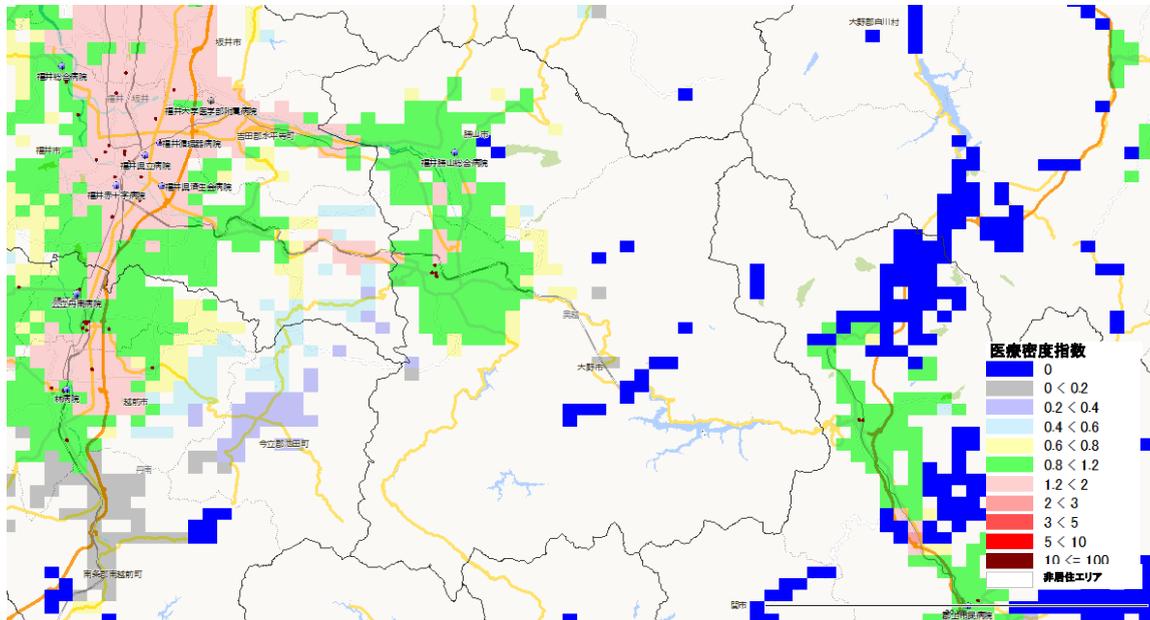
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が174床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2017年に109床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、65床の減少、率にして37%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



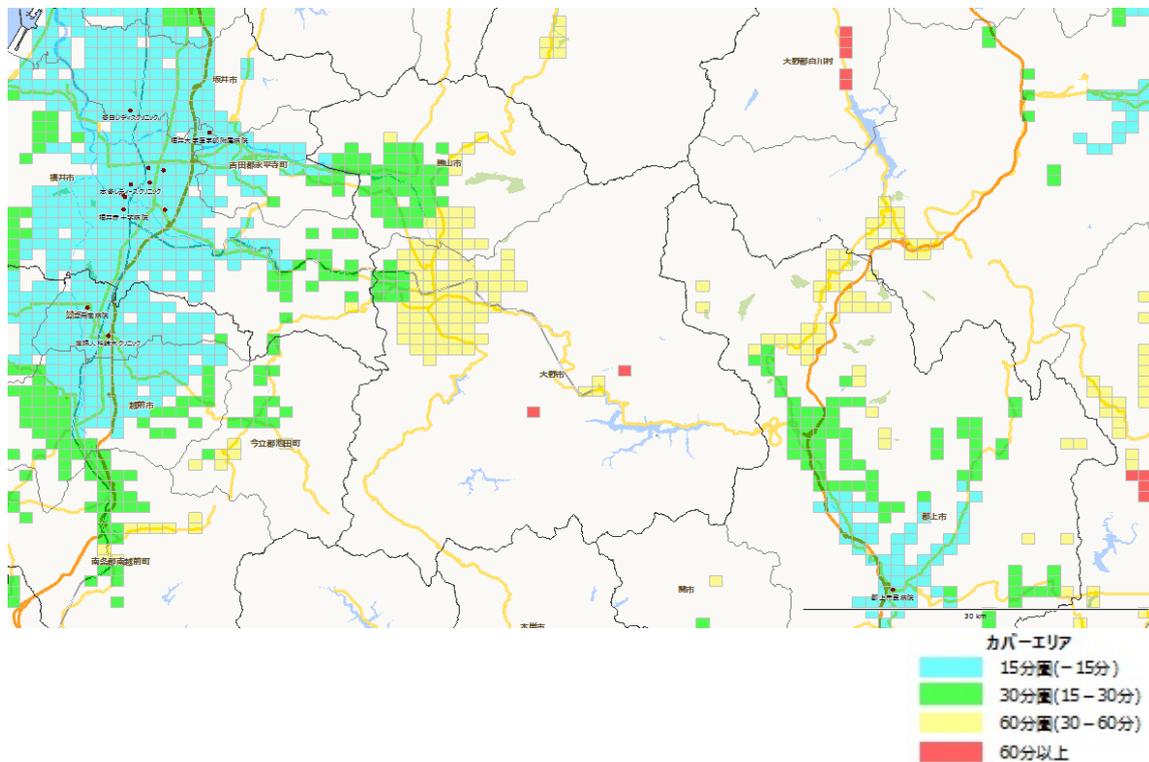
(奥越医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

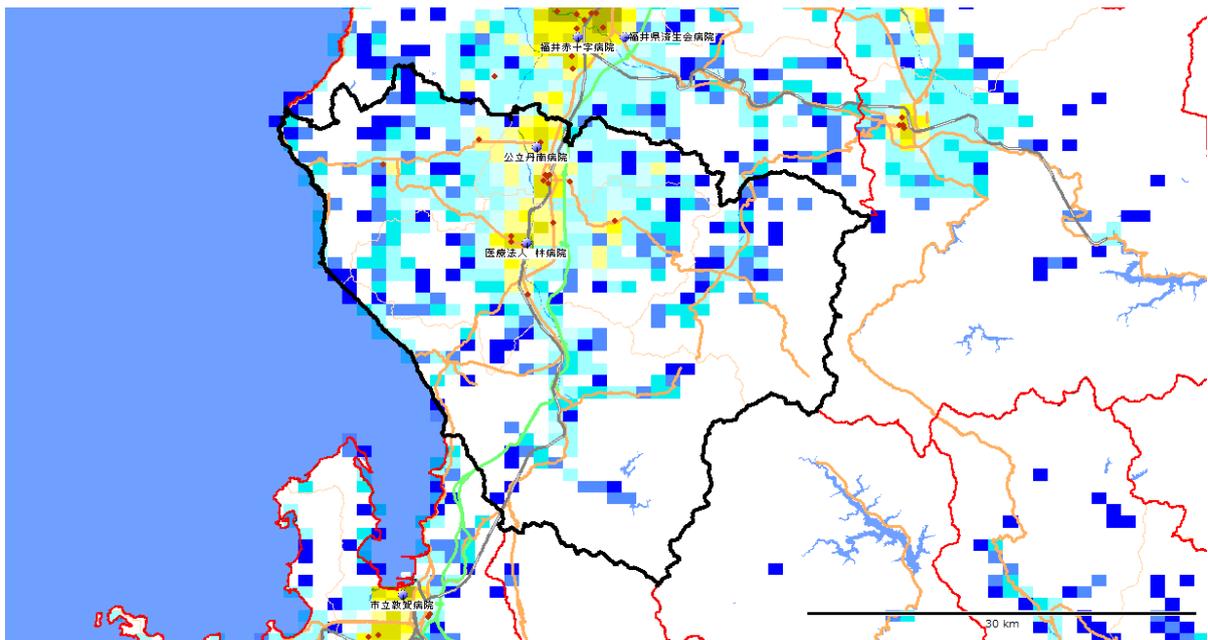


18-3. たんなん 丹南医療圏

構成市区町村 [鯖江市](#) [越前市](#) [池田町](#) [南越前町](#)
[越前町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(丹南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 丹南(鯖江市)は、総人口約185千人(2015年)、面積1,007km²、人口密度は184人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 丹南の総人口は2025年に172千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に148千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には33千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 丹南の一人当たり医療費(国保)は383千円(偏差値58)、介護給付費は276千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 丹南の一人当たり急性期医療密度指数は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は0.84で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が37(病院医師数37、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。丹南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 丹南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,675人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,948床(偏差値59)、高齢者住宅等が727床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,371人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム41、軽費ホーム57、グループホーム45、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、165人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(丹南医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

丹南医療圏の総人口は、2005年194,247人が、2015年に184,783人と5%減少し、2025年の人口が171,574人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

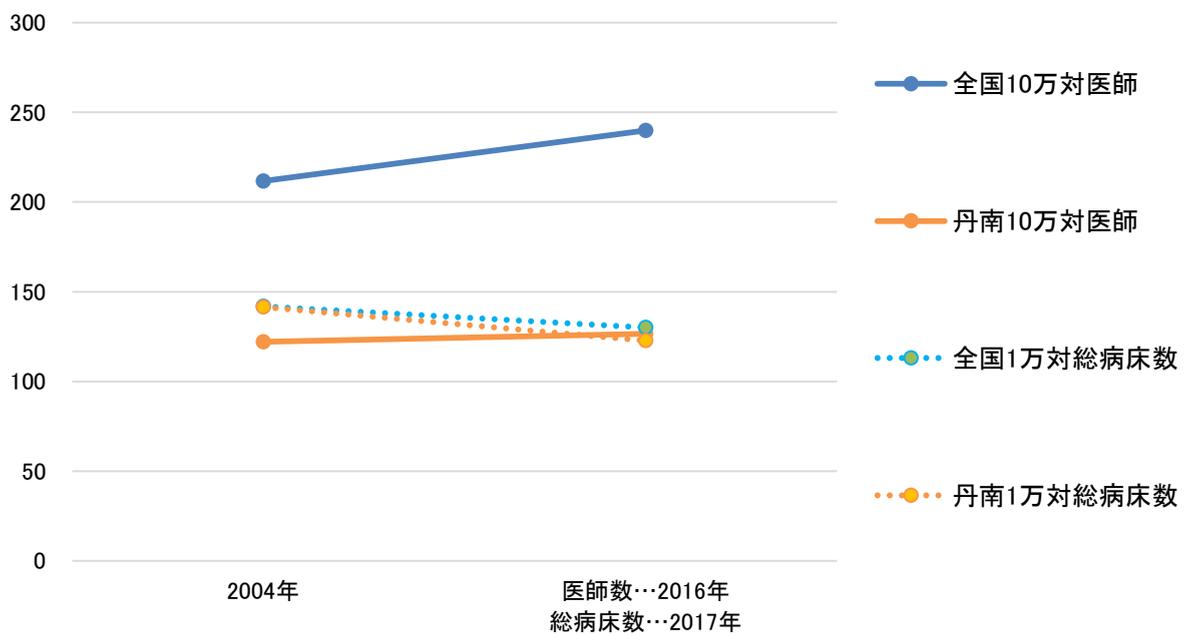
2004年の病院数が23(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2017年に18(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.6)偏差値57)となり、13年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が110(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2017年に108(人口10万人当たり58診療所(全国平均80)偏差値39)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,748床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2017年に2,269床(人口1万人当たり123(全国平均130)偏差値49)と、479床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

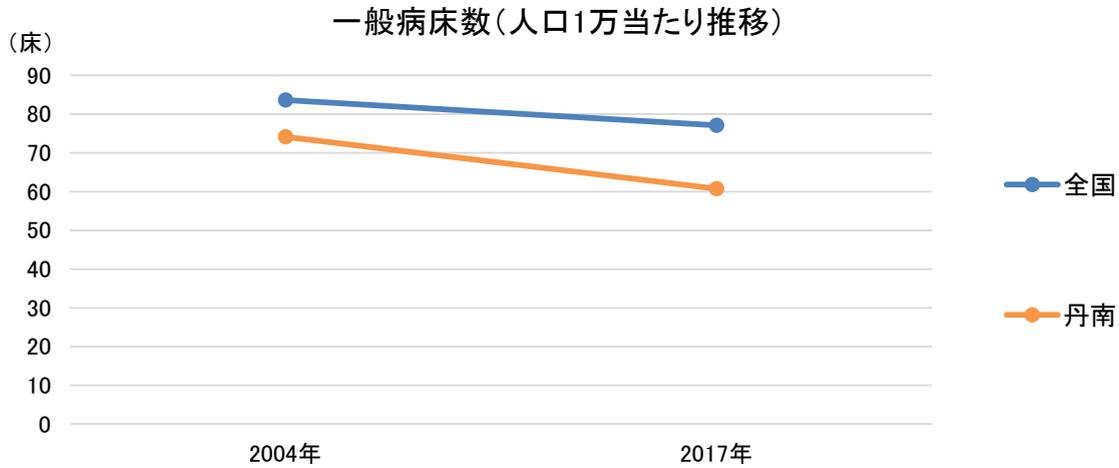
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が237人(人口10万人当たり122人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2016年に234人(人口10万人当たり127人(全国平均240人)偏差値37)と、3人の減少、率にして1%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



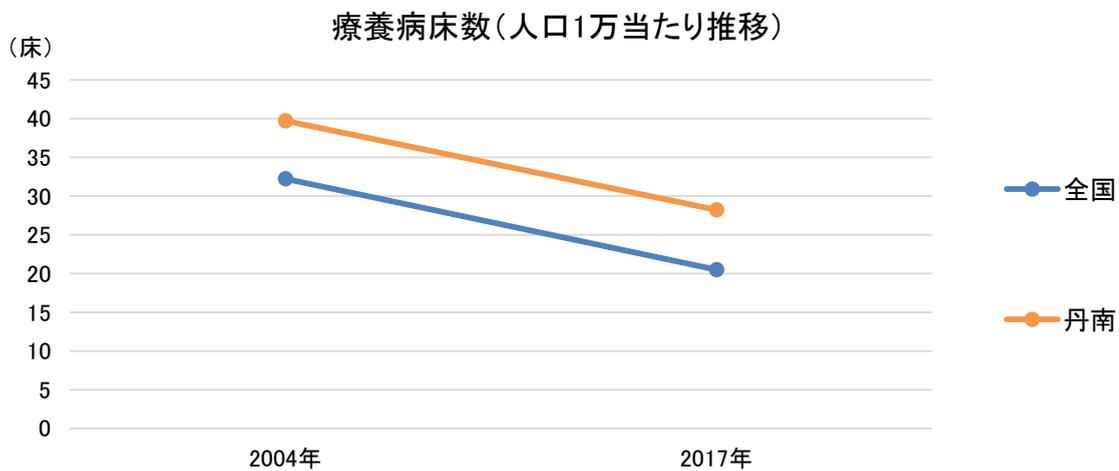
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,440床(人口1万人当たり74(全国平均84)偏差値47)であったが、2017年に1,122床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、318床の減少、率にして22%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



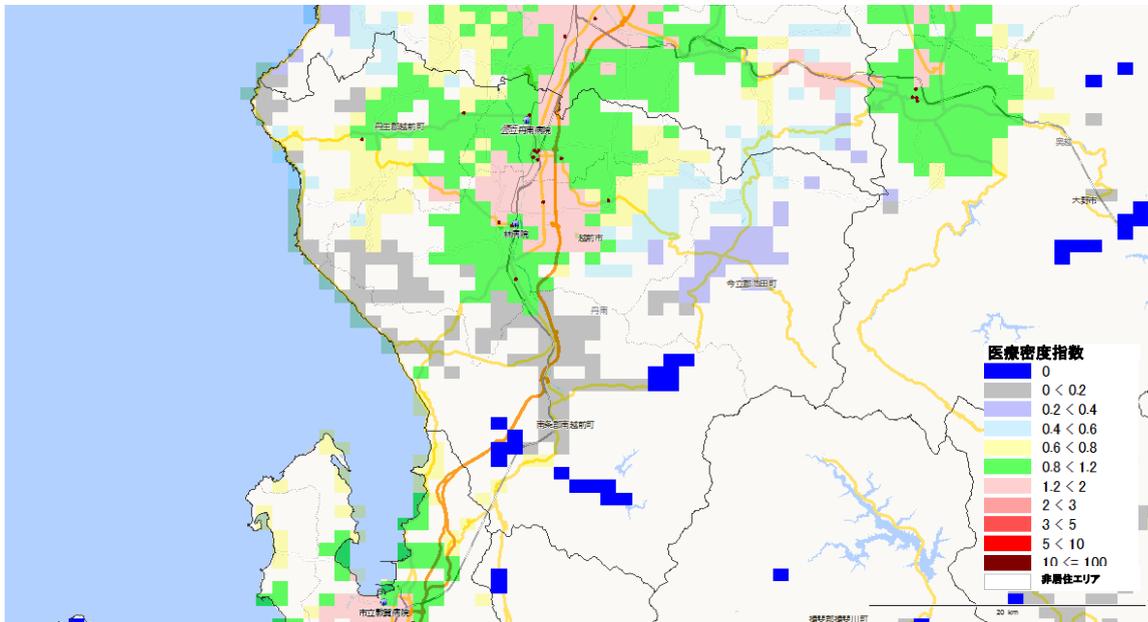
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が884床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均32)偏差値54)であったが、2017年に753床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均20)偏差値57)と、131床の減少、率にして15%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



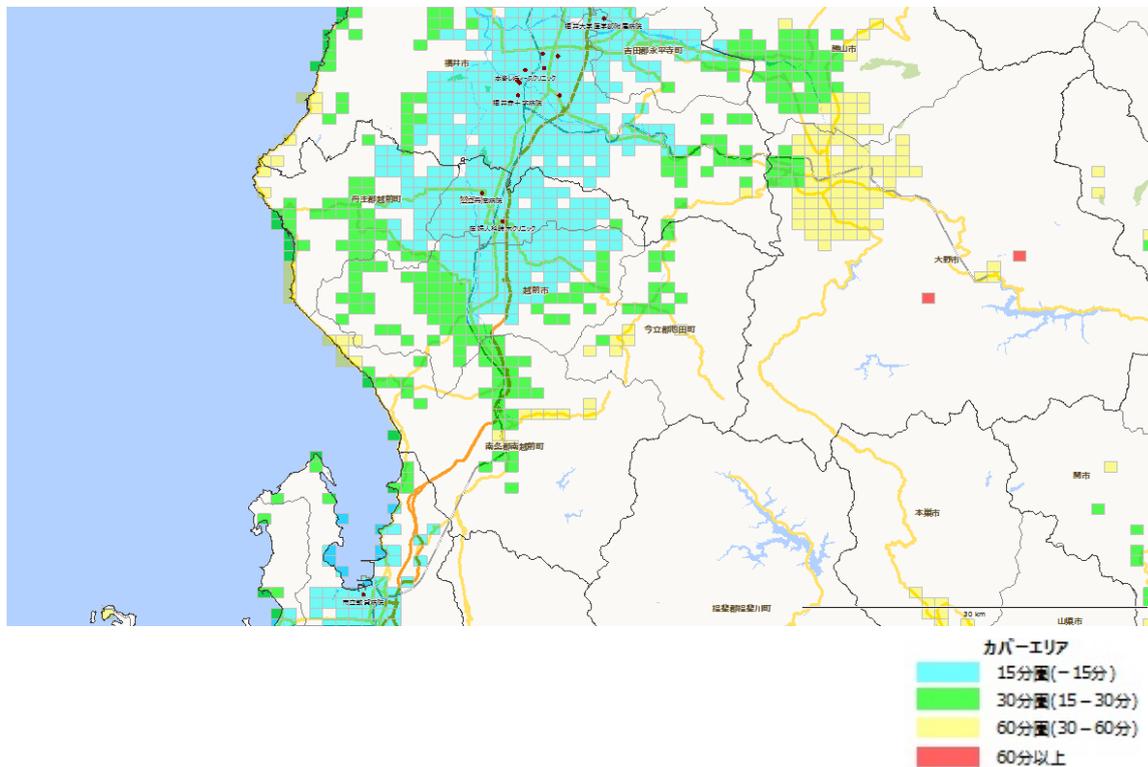
(丹南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

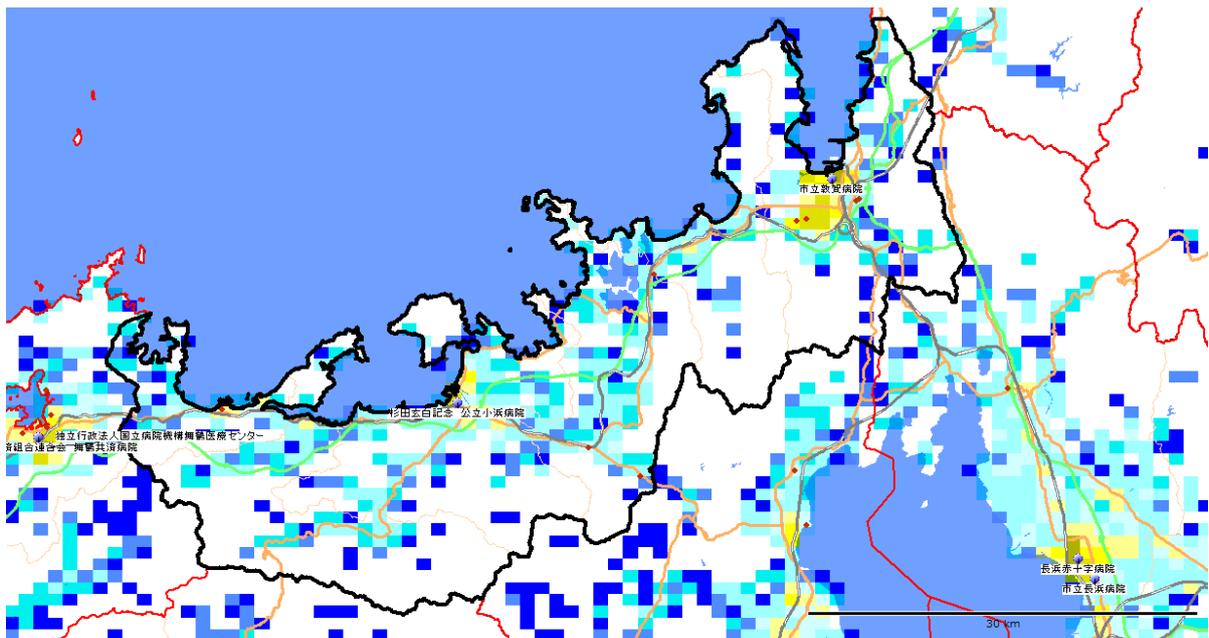


18-4. れいなん 嶺南医療圏

構成市区町村 [敦賀市](#) [小浜市](#) [美浜町](#) [高浜町](#)
[おおい町](#) [若狭町](#)

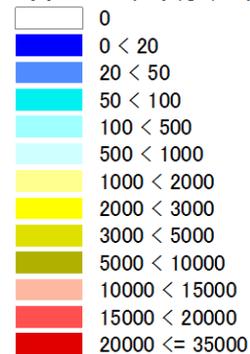
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群

● 一般病院

(嶺南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 嶺南(敦賀市)は、総人口約140千人(2015年)、面積1,100km²、人口密度は127人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 嶺南の総人口は2025年に127千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に106千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には25千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 嶺南の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値58)、介護給付費は288千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 嶺南の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は1.1で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。嶺南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 嶺南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,838人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,442床(偏差値55)、高齢者住宅等が396床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,798人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住41である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値68と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、249人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(嶺南医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

嶺南医療圏の総人口は、2005年149,234人が、2015年に139,927人と6%減少し、2025年の人口が126,924人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

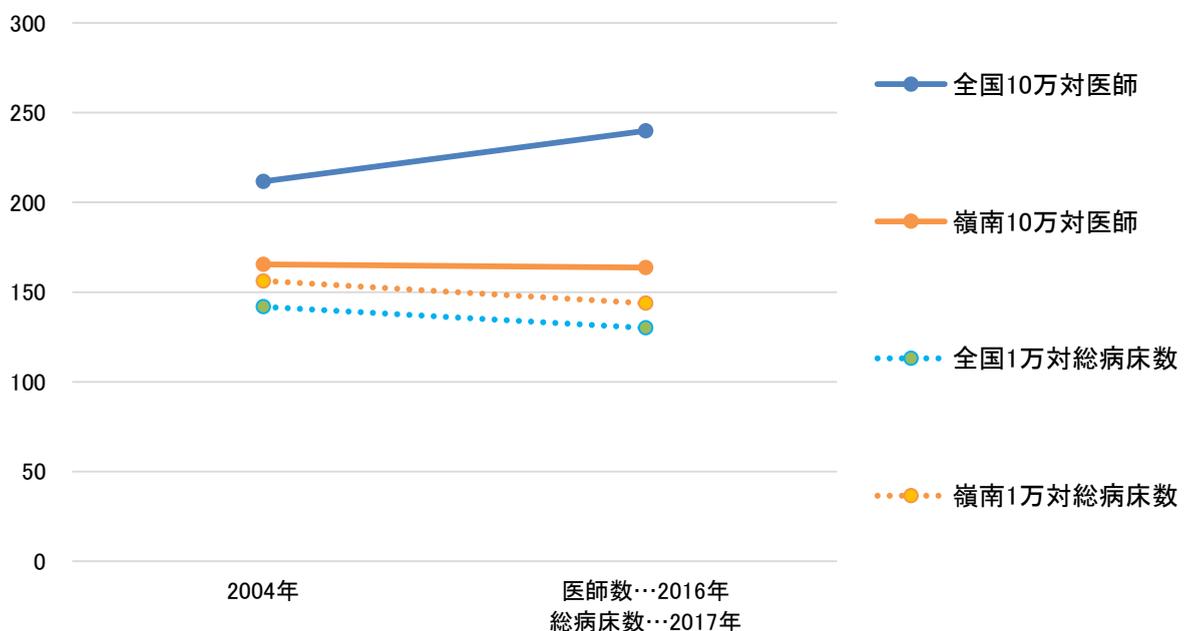
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2017年に10(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が100(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に99(人口10万人当たり71診療所(全国平均80)偏差値45)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,331床(人口1万人当たり156(全国平均142)偏差値53)であったが、2017年に2,013床(人口1万人当たり144(全国平均130)偏差値53)と、318床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

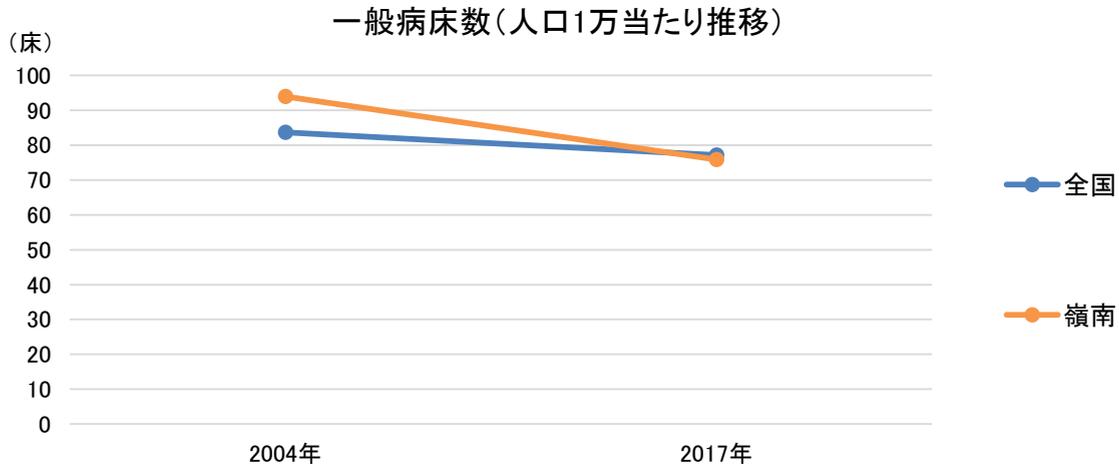
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が247人(人口10万人当たり166人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に229人(人口10万人当たり164人(全国平均240人)偏差値42)と、18人の減少、率にして7%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



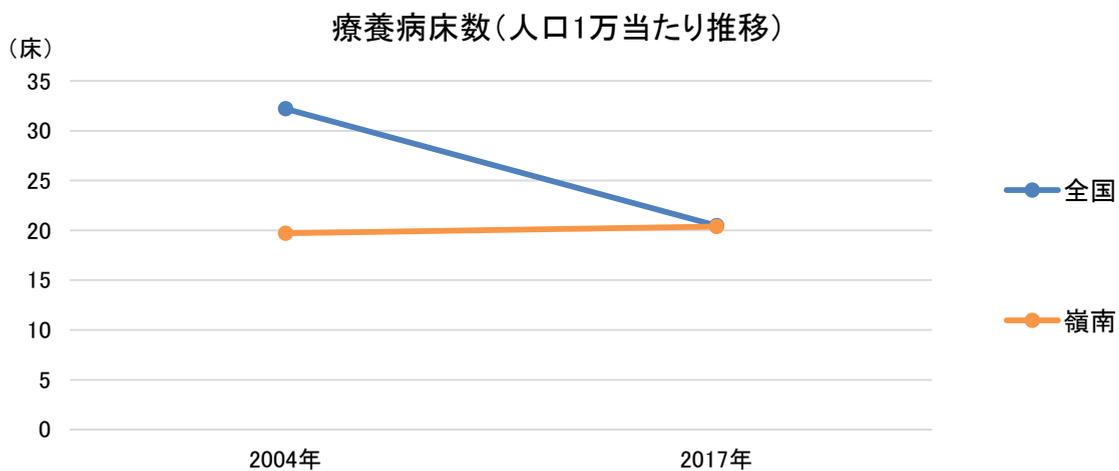
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,402床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2017年に1,061床(人口1万人当たり76(全国平均77)偏差値50)と、341床の減少、率にして24%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



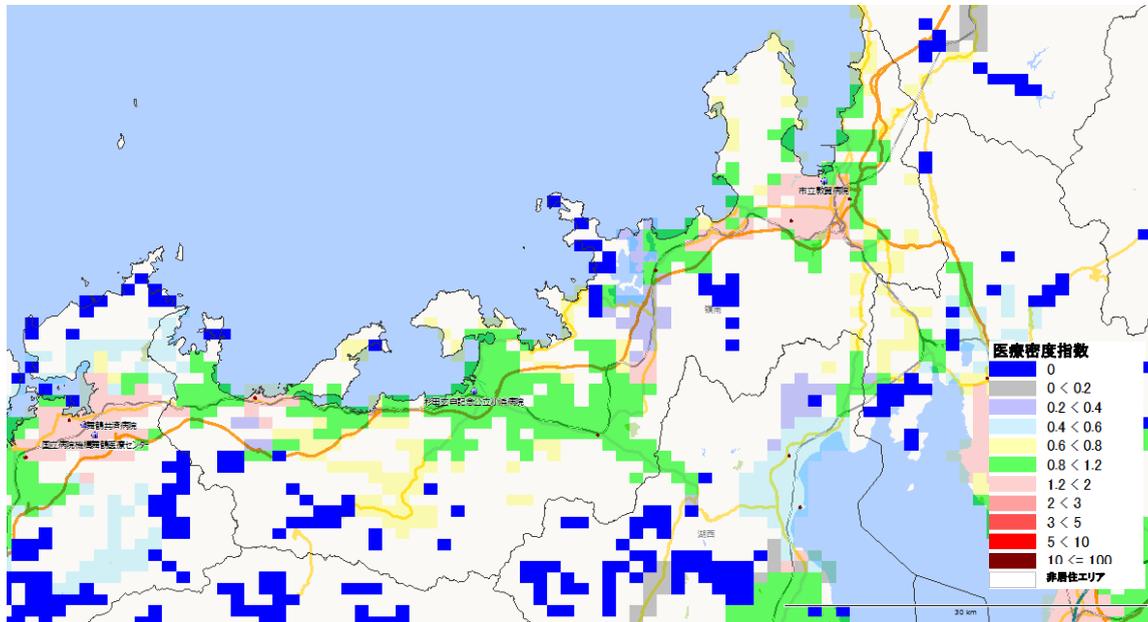
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が356床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に436床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値50)と、80床の増加、率にして22%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



(嶺南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表18-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

